



「天使のささやき」・・・それは、ダイヤモンドダストと呼ばれる自然現象のこと、この現象にちなんだ「天使のささやきの日」が本日2月17日となっています。



ダイヤモンドダストとは、氷点下10℃以下の厳寒の日にしか発生しない自然現象で、空気中に舞う水蒸気が凍って氷の結晶がキラキラと輝き、まるでダイヤモンドのように見えることから、このように呼ばれるようになりました。氷の結晶が輝きながらはらはらと舞い落ちるようすは、天からの小さな贈り物のようにも見えて、「天使のささやき」とはうまく名付けたものです。

では、きょう本日2月17日が、なぜ「天使のささやきの日」なのでしょうか。1978年2月17日北海道幌加内(ほろかない)町母子里(もしり)で氷点下41.2℃を観測しました。日本でもっとも低い気温が観測されたということから、このことを逆手にとって、雪や寒さのもつマイナスイメージをプラスに変えて、極寒の地としての町の魅力をPRすべく、この日を「天使のささやきの日」として制定されたということです。

この日に必ずダイヤモンドダストが見られるというわけではありませんが、寒ければ寒いほどきれいに見えるといわれています。寒い土地だけに、それだけきれいな輝きが見られるでしょう。「天使のささやきの日」と名付けられたこともうなづけます。



さて、折しも本日は大阪でも雪の舞うきびしい寒さとなりました。先週の土曜、日曜がとても暖かかっただけに、この寒さが身にします。寒暖の差がはげしいため、体調にはくれぐれも注意してください。

大阪ではダイヤモンドダストは見られませんが、あなただけの「天使のささやき」がどこからか聞こえてくるといいですね。



月中行事表の訂正(おわび)

2月 18日(木)・19日(金)

月中行事表では給食なしとなっていましたが、
給食はありますのでまちがいのないようにしてください。